

みどりヶ丘区の活動紹介

みどりヶ丘区では、60～70代の10名程の仲間が、月1回第3木曜日に集まって活動を行っています。

共同で畑をやっていた仲間を中心に、コロナ禍により畑ができなくなった事もあり何か集まれる形があれば…との思いから、福祉推進委員の里見さんのお声掛けで始まった会です。

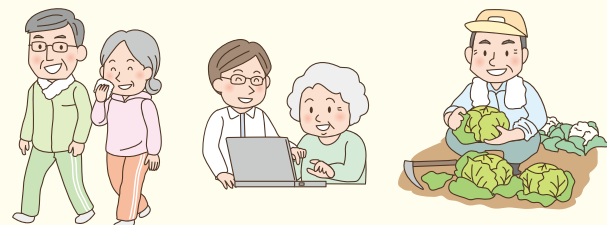
前半は先生をお招きした体操教室を1時間30分ほど行い、後半はお菓子を食べながら地域のことや個々に作っている野菜のこと、健康についてのお話などをして交流を楽しんでいます。

来年からは『グリーンクラブ』という名前で活動を続けていきたいと考えています。



《仲間みなさんから》

- ・昔は自宅に近所の人に来てお話ししたりしていましたが、だんだんと人が気軽に集まりにくくなっています。このような会があるといいですね。
- ・何か形がないと集まらないから、こういった会があるとほっとします。
- ・人と話さなくなってしまうのは良くないことだと思います。もう少し人が集まってくれたらうれしいです。
- ・これまでに詐欺防止の会も開いたことがあります。今後は他の地区の活動も参考にしながらもう少し大きくしていきたいと思います。



みどりヶ丘区では、この活動のほかに、区内の高齢者で構成された《みどりヶ丘の会》があり、みどりヶ丘保育園児と交流したり、会員同士のお茶会を開いたりしています。

《みどりヶ丘の会》は福祉推進委員が中心となって活動しており、お茶会の運営費は福祉推進委員活動助成金を活用しました。

皆さんのお住いの行政区でも、福祉推進委員を中心とした活動に取り組んでみませんか？

【福祉推進委員活動助成金】とは・・・

誰もが、地域で、安心して暮らし続けるために『福祉推進委員が中心となって取り組む活動』に対して、宮川地区社会福祉協議会から助成金を交付しています。

★お問い合わせ先：茅野市社会福祉協議会（西部） TEL 0266-82-1328

宮川地区

第51号

社会福祉協議会だより

令和6年12月20日 宮川地区社会福祉協議会 事務局電話 82-1328

気くばり活動応援事業説明会 及び 福祉推進委員情報交換会



令和6年9月13日（金）、宮川地区社会福祉協議会委員と各行政区福祉推進委員の皆さんにお集まりいただき、秋に予定されている地区社協事業の説明会を行いました。

宮川地区社協の一番大きな事業となっている《気くばり活動応援事業》、地域福祉行動計画“すまいるプラン”の基づいて行われる《あいさつ運動強化月間》、地域福祉活動の資金源となっている《赤い羽根共同募金 大口募金》について説明と協力依頼をしました。

《気くばり活動》は、それまで行われていた配食サービスに代わり、令和3年から行われている事業で、今年で4年目となります。福祉推進委員の皆さんを中心に、行政区ごとに対象者や品物を決め、宅配しながらご様子など伺い、地域の人と人が繋がることを目的として実施をお願いしています。

《あいさつ運動》は、毎月1回、御柱街道の宮川小学校前の横断歩道付近で行っていますが、10月は強化月間として、宮川地区内の学校・保育園でも実施します。また、行政区ごとに区内放送又は回覧で、あいさつ運動の呼びかけをお願いしました。

《赤い羽根共同募金》は、各行政区を通じて各ご家庭にお願いしていますが、大口募金は、宮川地区内の企業に対して、地区社協役員が募金のお願いに廻ります。企業のご協力もあり、宮川地区は、茅野市内一番の実績となっています。



【福祉推進委員情報交換会】では、車座になり、行政区ごとに、福祉推進委員の選任方法・任期・活動内容を話していただきました。宮川地区内には、16の行政区があり、人口も様々ですが、ほとんどの行政区で、役員の成り手不足が伺えました。

※福祉推進委員の役割 第3次福祉21ビーンズプランより

- 区・自治会における地域福祉の窓口
- 地域福祉の推進を担う、ボランティアや民生児童委員、地域の団体とのつなぎ役
- 身近な地域での福祉活動の推進役



あいさつ運動強化月間

宮川地区では、第3次地域福祉行動計画《すまいるプラン》に基づき、毎年10月をあいさつ運動強化月間としています。

地区全体であいさつ運動を推進するために、福祉推進委員の皆さんには、区内放送を活用しての周知をお願いしました。（回覧板で周知した行政区もあります。）

また、10月2日（水）には、地区内の学校や保育園でのあいさつ運動を行いました。

長峰中学校で、【あいさつ運動出発式】を行った後、茅野高等学校、宮川小学校、地区内4つの保育園へと担当役員が移動し、登校・登園する子どもたちと、笑顔であいさつを交わしました。

長峰中学校

出発式を行い、その後各会場へ移動し、あいさつ運動を行いました



茅野高等学校

生徒や先生方もあいさつ運動に参加してくれました



宮川小学校 御柱街道沿いも含め3か所で実施。顔見知りの役員に手を振り登校していきました



宮川保育園



みどりヶ丘保育園



宮川第二保育園



わかば保育園



気くばり活動応援事業

宮川地区社会福祉協議会では、これまで行っていた配食弁当に代わり、令和3年から気くばり活動応援事業を行っており、今年で4年目となりました。

この事業は、《気くばり対象者を含めた地域の皆さんへ、声掛けや品物を届ける活動を通して、地域の人と人とがつながること》を目的とし、宮川地区社会福祉協議会の委員となっている福祉推進委員を中心に、行政区ごと取り組んでいただいています。実施日時・気くばり対象者・品物（内容）など工夫して、今年も多くの行政区で実施しました。

気くばり活動応援事業を実施した行政区には、宮川地区社会福祉協議会から補助金を交付しています。

11月9日（土）丸山区で実施された、気くばり活動事業取材しました！

丸山区では、福祉推進委員と関係団体が協力し、事業を行いました。

対象者は、75歳以上の一人暮らしの方・80歳以上の方とし、銘菓とお茶・子たちからのメッセージを用意。包み紙は役員が作成したそうです。

また当日、公民館事業で料理教室があり、子どもたちが育てた“さつまいも”を使って調理した“さつまいもマッシュ”も添えてお届け。

対象者には、事前に案内通知を出していたとのことで、楽しみに待っていてくれた方も…。ご様子を伺うと、お元気で過ごされている方、介護サービスを使われている方…など様々でしたが、近況を伺うことができました。料理教室に参加した子供たちも、一緒に訪問し、「お元気で」と声をかけていました。訪問後、子どもたちから感想を聞くと「元気そうだった」「楽しかった!」と話してくれました。



その他の行政区から届いた感想

- ・このような活動があれば、地域に暮らす幅広い世代の方々との関わりを持つことができ、地域コミュニティが機能していれば、犯罪が起きにくくなり、高齢者や子供の安全も保たれやすくなると思いました。
- ・高齢の方は、やはり体調を崩している方が増えています。